

■羽田盃(S I)アラカルト(過去全 61 回の分析)

- ※第 1 回から第 8 回までは大井杯競走で実施
- ※第 1 回から第 11 回までは 1800m で実施
- ※第 12 回から第 40 回までは 2000m で実施
- ※第 41 回から第 43 回までは 1800m で実施
- ※第 44 回から第 46 回までは 1600m で実施
- ※第 47・48 回は 1790m で実施
- ※第 49 回以降は 1800m で実施
- ※第 19 回、第 57 回は 3 着同着のため 3 着馬は 63 頭
- ※記録は 2017 年 4 月 1 日時点

■優勝馬の大半は単勝 1~2 番人気馬

過去 61 回の優勝馬 61 頭中、27 頭は単勝 1 番人気馬、24 頭は単勝 2 番人気馬だった。実に 8 割以上の確率で単勝 1~2 番人気馬が優勝を果たしているわけで、基本的には前評判の高い馬が強いレースと言えるだろう。

■“無敗”で優勝を果たした馬は 6 頭

過去 61 回の優勝馬 61 頭中、羽田盃出走時点で“無敗”だったのは、第 27 回のホスピタリティ(7 戦 7 勝)、第 32 回のシナノデービス(4 戦 4 勝)、第 38 回のブルーファミリー(6 戦 6 勝)、第 42 回のキャニオンロマン(4 戦 4 勝)、第 45 回のイエローパワー(3 戦 3 勝)、第 46 回のトーシンブリザード(4 戦 4 勝)だけである。なお、第 48 回のナイキアディライトはダートのレースに限れば 4 戦 4 勝、第 50 回のシーチャリオットは南関東のレースに限れば 4 戦 4 勝、第 59 回のハッピーズプリントは地方競馬のレースに限れば 6 戦 6 勝だった。

■牝馬の勝ち馬は 5 頭

過去 61 回の優勝馬 61 頭中、牝馬は第 4 回のハルセキト、第 26 回のコーナールビー、第 34 回のロジータ、第 37 回のカシワズプリンセス、第 56 回のクラーベセクレタだけだ。

■外国産の勝ち馬は 1 頭のみ

過去 61 回の優勝馬 61 頭中、外国産馬は第 50 回のシーチャリオット(アメリカ産)だけだ。

■的場文男騎手は“歴代最多勝”にリーチ

騎手別勝利数を見ると、現役騎手の中では的場文男騎手の 6 勝が最多。歴代最多は赤間清松元騎手の 7 勝なので、あと 1 勝すればトップタイに浮上する。

■調教師別の歴代最多勝記録は「7」

調教師別勝利数を見ると、通算7勝の出川己代造調教師が単独トップである。

■「3 枠」や「3 番」が強い

枠番別勝利数を見ると、トップは16勝の「3 枠」。2位タイの「4 枠」「5 枠」が各9勝なので、断然のトップだ。また、馬番別勝利数を見ると、トップは10勝の「3 番」。こちらも2位の「4 番」(7勝)、3位の「9 番」(6勝)に大きな差をつけている。

<伊吹雅也>